

第19回中四国文化の集い「踊り・おどり・躍りフェスティバルin 後楽園」の開催について

第8回おかやま県民文化祭のプログラムのひとつとして、第19回中四国文化の集い―「踊り・おどり・躍りフェスティバルin後楽園」を次のとおり開催する。

中四国文化の集いは、中四国9県の文化交流により、文化活動の発表機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図ることを目的として、平成4年度から各県持ち回りで開催している中四国9県の共同事業であり、「第25回国民文化祭・おかやま2010」の開催に合わせて開催する。

- 1 日 程 平成22年11月6日(土) 10:00～16:00
 10:00～ **交流会**〔PRタイム〕(会場：県立美術館ホール)
 出演団体が地元の伝統舞踊や祭りを相互にPR
 14:00～ **演舞披露** (会場：後楽園 井田付近の園路・芝生)
 1団体10分程度で踊りを披露〔雨天中止〕
- 2 演舞場 岡山後楽園〔岡山市北区後楽園1-5〕鑑賞無料(要入園料)
- 3 主 催 おかやま県民文化祭実行委員会、中四国各県、中四国各県教育委員会
- 4 共 催 第25回国民文化祭岡山県実行委員会、(社)岡山県文化連盟、(財)岡山県郷土文化財団
- 5 出 演 計11団体、266人

順	県名(市名)	踊りの名称	団 体 名	人数
1	島根県(安来市)	どじょう <small>すく</small> 掬い男踊り	安来節保存会	8
2	香川県(高松市)	こんぴら <small>ふねふね</small> 船々ばやし	四国民踊研究会	24
3	岡山県(高梁市)	渡り拍子	平川渡り拍子保存会	38
4	山口県(下関市)	正調八丁 <small>はつちようはま</small> 浜踊り	下関民謡舞踊連合会	33
5	愛媛県(松山市)	松山まつり <small>やきゆうげん</small> 「野球拳おどり」	愛媛民謡民舞協会	22
6	鳥取県(鳥取市)	しゃんしゃん <small>かさ</small> 傘踊り	桜道里(オードリー)	24
7	岡山県(岡山市)	うらじゃ	うらじゃ振興会	20
8	高知県(高知市)	正調よさこい <small>なるこ</small> 鳴子踊り	高知県庁正調よさこいクラブ	15
9	徳島県(徳島市)	阿波おどり	阿波おどり振興協会	30
10	広島県(福山市)	蔵王 <small>ざおう</small> はね踊り	蔵王はね踊り保存会	30
11	岡山県(高梁市)	松山踊り	高梁市観光協会	22

中四国各地の踊りが岡山後楽園に集う

踊り
おどり
躍り
フェスティバル



in 後楽園

伝統の舞を「踊り」

新たな文化が「おどり」

こころ「躍る」

平成22年
11/6 土

14:00~16:00 雨天中止

特別名勝

岡山後楽園

鑑賞無料 ※後楽園の入園料が必要です 大人400円

出演

- しゃんしゃん傘踊り(鳥取市) ●どじょう抱い男踊り(安来市) ●蔵王はね踊り(福山市)
- 正調八丁浜踊り(下関市) ●阿波おどり(徳島市) ●こんびら船々ばやし(高松市) ●松山まつり「野球拳おどり」(松山市) ●正調よさこい鳴子踊り(高知市) ●渡り拍子(高梁市)
- 松山踊り(高梁市) ●うらじゃ(岡山市)

主催: 中四国各県・中四国各県教育委員会・おかやま県民文化祭実行委員会

共催: 第25回国民文化祭岡山県実行委員会・岡山県文化連盟・岡山県郷土文化財団

後援: 山陽新聞社・岡山日日新聞社・NHK岡山放送局・RSK山陽放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送・TSCテレビせとうち・oniビジョン

協力: (有)鳥村写場 特別協賛: (株)三好野本店

お問い合わせ先: 岡山県文化振興課 TEL 086-226-7901





日時：平成22年11/6 土 14:00~16:00 雨天中止

会場
岡山後楽園

鳥取県 / 鳥取市 桜道里

◇しゃんしゃん傘踊り

鳥取の伝統芸能「因幡の傘踊り」をアレンジした「鳥取しゃんしゃん傘踊り」をさらにアレンジした曲で、男性がしゃんしゃん傘を使い鳥取らしさを舞い、女性は扇子と「すすっこ」を使って桜をイメージして演舞します。



島根県 / 安来市 安来節保存会

◇どじょう掬い男踊り

安来では、小川から掬ったどじょうを肴に酒盛をし、座興としてどじょうを掬うときの動作を真似た踊りを踊っていた。やがて安来節のリズムに合わせてたどじょう掬いの踊りとして、安来節の発展と共に大衆の中に浸透していった。



広島県 / 福山市 歳王はね踊り保存会

◇歳王はね踊り

江戸時代初期から伝わる「歳王のはね踊り」。神への雨乞い祈願ではね踊りを奉納し、また祈願成就や豊作のときにもお礼参りで、はね踊りが行われたと伝わる。はね踊りは、その名のとおり、大胴（おおど）・諷鼓（かんど）・鉦（かね）の3種類の打楽器を奏でながら、「はね」あがるような所作をまじえて軽快に踊ります。



山口県 / 下関市 下関民謡舞踊連合会

◇正調八丁浜踊り

5月、下関市の亀山八幡宮「五穀祭」では、「八丁浜エラヤッチャ」の合の手で、八丁浜の囃しに合わせ杓子を叩きシャギリ踊る「八丁浜」が行われます。「エラヤッチャ」とは、江戸時代に島の神社を陸続きにするために埋め立てられた「八丁浜」の工事に身を投じて埋め立ての礎石となった「お亀さん」は偉い奴だと称えた意味です。



徳島県 / 徳島市 阿波おどり振興協会

◇阿波おどり

阿波踊りの起源には、築城説、風流踊り説、盆踊り説の3つの有力な説がありますが、いずれの説からも400年を超える歴史があり、今ではリオのカーニバルと並び称されるほど情熱的で世界的な踊りで、期間中はエネルギー溢る踊りの渦に巻き込まれ徳島の街は阿波おどり一色となります。



香川県 / 高松市 四国民踊研究会

◇こんぴら船々ばやし

幕末から明治初年を頂点に全国的に流布した香川県琴平町を中心に唄われたお座敷唄。明治5年に象頭山の金毘羅大権現が金刀比羅宮と改められ、金毘羅参りの信者は今に絶えず、海上守護の神としてもあがめられています。金毘羅参りの道中唄として短くて景気のよい調子が人々に喜ばれる、非常に軽快な踊りです。



愛媛県 / 松山市 愛媛民謡民舞協会

◇松山まつり「野球拳おどり」

松山まつりで踊られる「野球拳おどり」は、大正13年に高商クラスとの野球の試合に敗れた伊予鉄道電気が、その対戦相手との懇親会で、元禄花見踊りの曲をアレンジし即興で作詞、振り付けで踊ったのが始まり。昭和29年にレコード化されスムーズになり、その後、松山まつりで踊られるようになりました。



高知県 / 高知市 高知県民正調よさこいクラブ

◇正調よさこい鳴子踊り

昭和29年に市民祭としてスタートした高知の夏の祭典「よさこい祭り」。高知県在住の作曲家、武政英策氏が作詞作曲し、日本舞踊五流派のお師匠さん方が振り付け。田んぼで雀追いの道具に使われていた鳴子を手にした「ヨッチョレヨ、ヨッチョレヨ」の軽快なリズムの「正調よさこい鳴子踊り」が完成しました。



岡山県 / 高梁市 平川渡り拍子保存会

◇渡り拍子

高梁市備中地域に伝わる「渡り拍子」は、毎年11月に、豊作を祝う秋祭りの神事、御神幸の供奉奉として、あちこちの神社で秋祭りを彩る踊りです。渡り拍子は、一つの太太鼓に四人の跳び子が、華やかな花笠や衣装を身にまとい、拍子木や鉦のリズムに乗って太鼓を打ったり跳ねたりして勇壮に舞います。



岡山県 / 高梁市 高梁市観光協会

◇松山踊り

毎年8月14日・15日・16日と3日間行われる県下一の規模を誇る盆踊り「備中たかはし松山踊り」。江戸時代に五穀豊穡と町家繁盛を祈って踊ったのが始まりと言われています。町衆から始まった「地踊り」と、武家に伝わった「仕組踊り」があり、現在では「地踊り」が中心に踊られています。



岡山県 / 岡山市 うらじゃ振興会

◇うらじゃ

昔話「桃太郎」の源と言われ、古代より岡山に伝わる「温羅（うら）伝説」。毎年8月第一週に岡山市で開催される「うらじゃ」は、この温羅伝説から生まれた「踊り」を軸とした岡山の地域・文化・歴史に根ざしたストーリー性のある市民参加型の祭で、温羅を模した「温羅化粧」と祭のフィナーレの「総おどり」が特徴です。



お晴れ! おかやま県民文化祭
※ 国民文化祭・あかやま2010 平成22年10月30日(土)~11月7日(日)

先行開催! 2010.10/21(金) 10/31(日)

県庁が「アートいっぱい」
「県庁アート回廊」



会場
県庁周辺
県立図書館